

平成18年度 第2回支部連絡協議会議事録

開催日時：平成18年11月11日(土) 13:00～16:30

開催場所：北海道大学医学部保健学科 5-1 講義室

出席者(敬称略)：

村岡(日胆), 浅野(石狩:代理), 辻(後志), 原田(札幌), 小渡(空知), 大堀(道北)
広川(十勝:代理), 山崎(根釧), 南川(網走) 森山(道南)
山田(支部連絡協議会担当理事), 坂上(事務局長), 木下(教育部長)

議事：

1. 支部連絡協議および各支部平成18年度中間報告

* 質疑なし

2. 支部連絡協議および各支部平成18年度活動報告, 平成19年度活動計画および予算案の提出について

* 12月中旬～1月上旬までに18年度活動報告, 19年度活動計画・予算案を支部連絡協議会に提出する。なお, 18年度決算についてはその時点での概算で構わない。
最終的な18年度決算については2月上旬まで提出。

* 平成19年度活動計画については公益事業計画と必要な予算案を盛り込むものとする。
(議事5参照)

3. 道士会各部局から検討・報告事項

* 教育部より：平成19年度より道士会主催新人研修会の支部開催については企画・運営とも全て支部に委ねたくお願いしたい。将来的には各支部で全ての新人教育プログラムを開催するようにしたい。

* 上記については各支部に持ち帰り, 開催可能な支部については教育部長に連絡する。
なお, 次年度の開催テーマは別紙資料を参考にこれまでの各支部での実施テーマの推移を踏襲するものとする。

* 各支部からの実施可否の回答を教育部が集約し, 開催テーマの次年度実施の割り振りは教育部で行う。

* 次年度は道士会教育部が開催ノウハウに関して全面的にバックアップする。

* 新人研修に関わる予算は教育部の予算とする(支部予算案には含まない)。

- * 支部勉強会、支部開催の新人教育研修会のポイントは支部で押せるようにしたい。それに伴い印鑑(生涯学習認定印)については各支部で管理してほしいと思う(1から2個)。
- * 今まで支部主催の研修会は、支部自体を「SIG」扱いしてたので、ポイントは半減していたが、今回を機に支部研修会は「道士会主催」と扱うのはどうか？
- * 保険部，事業部より：別紙のとおり

4. 各支部から検討・報告事項

- * 交通費の自家用車換算について：別紙のとおり
- * 託児に関する経費の扱いについて：別紙のとおり
- * 年会費の割引について：別紙のとおり
- * 道北支部より新人研修会の症例研究 の発表の質・進め方について一定の基準が必要なのでは？：
各支部での状況について意見交換行うが本協議会で結論できる内容ではないので，今後
も理事会，教育部含め継続的な検討が必要である．

5. その他

事務局長より：

- * 他県士会の法人活動について：別紙のとおりであるが，当士会の活動は，他県士会と比較しても充実している．
- * 平成20年度の公益法人制度改革により公益社団法人として認められるための基準が厳しくなる．当士会の現状で特段の問題はないと思われるが，公益事業の充実に関しては検討が必要である．については，各支部の活動計画にも公益事業を盛り込んだものを検討・提出してほしい．

次回（平成19年度第1回）協議会の開催日時について：

- * 例年どおり道士会総会開催時に合わせるが，研修会・総会を控え十分な議論ができていない状況であり，また検討事項の増加も予想されるため開始時間を早めて午前中から実施する．具体的開始時間は未定．

以上